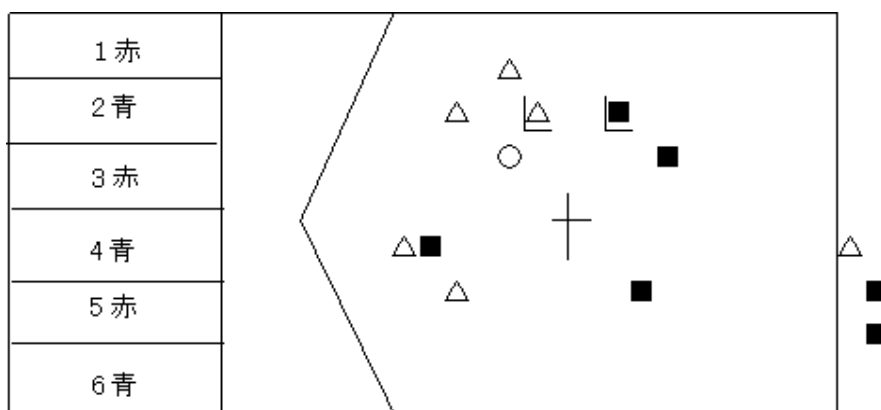


第73回北信越ろうあ者体育大会

ボッチャについて

- 1対1で行う個人戦、2対2で行うペア、3対3で行う団体戦があります。
- いずれも1チーム6個のボール（赤または青）をジャックボール（白）に近づけるようになります。
- 投げる順番は
 - ①赤チームの左端の人がジャックボール（白）を投げます。
(2ゲーム目は青チームの左端の人が投げて、後は同じ要領。)
 - ②同じ人が赤ボールを投げます。
 - ③青チームの誰かが青ボールを投げます。
 - ④これ以降はジャックボールに近いほうのチームの誰かが投げます。
 - ⑤一方のチームの投げるボールがなくなれば、もう一方のチームが連続して投げます。
- ジャックボールや他のボールに当たっても、そのまま続けます。
- ジャックボールがコートの外に出たとき、ジャックボールはクロスの位置に戻ってきます。
- 得点
 - ①双方のチームの最もジャックボールに近いボールを比較し、どちらが近いかを判定
(赤)
 - ②ジャックボールに遠かった方のチーム（青）のジャックボールに一番近いボールとジャックボールを結んだ線を半径とし、ジャックボールを中心とした円を描き
 - ③その円の中に何個赤ボールがあるかを数えます。その数が得点となります
 - ④①がまったく等距離のときのみ1対1となります。
- 個人戦とペア戦は4ゲーム、団体戦は6ゲーム行い合計得点を競います。



■ 白（ジャックボール） △ 赤 ■ 青